



平成 22 年 5 月 24 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4 5 7 1 東証マザーズ)
問い合わせ先 社長室室長 香浦敏樹
電話番号 0 3 - 3 5 4 8 - 0 2 1 7

**遺伝子キャリア(運搬体／担体)として好適なポリマーミセルに関する物質特許が
米国と日本国において登録査定を受けました。**

国立大学法人東京大学から当社が独占的ライセンス契約を受ける出願特許について、米国特許庁と日本国特許庁から登録査定を受けました。これにより、遺伝子キャリアに好適なポリマーミセルに関する物質特許が、米国と日本国にて成立する運びとなりました。

【発明の名称】 ポリエチレングリコール-ポリカチオンブロック共重合体

【出願番号】 US 1 0 / 5 5 6 0 5 8、JP 2 0 0 3 - 3 1 5 8 5 8

【特許権者】 国立大学法人東京大学

本特許発明は、東京大学の片岡一則教授のグループが開発したカチオン性（プラスに荷電）のポリアミノ酸誘導体からなるポリマーミセル型キャリアに関するもので、マイナスに荷電した遺伝子と高分子イオン複合体を形成し、ナノサイズのみセル粒子とする技術です。当社は、本特許発明の国内外における再実施許諾権を有しており、2009年12月21日発表の通り、日油株式会社へ「機能性タンパク質を発現する遺伝子を使用した遺伝子治療分野*」を対象とした再実施許諾権付き独占的権利を許諾しております。

本特許は、日油株式会社との関係をより強固にすると共に、当社が推進する高分子ミセルの開発を優位にするものです。今後も特許戦略の強化を基に研究開発を進めてまいります。

日油株式会社 URL: <http://www.nof.co.jp>

ドラッグデリバリー用素材および処方の開発、販売を行う企業であり、遺伝子治療分野に適用可能な新規技術の探索を行っています。

*遺伝子治療分野：DNA が組み込まれた発現ベクターと呼ばれる遺伝子発現系が細胞内へ導入されると、DNA の遺伝情報に基づき機能性タンパク質や RNA が合成され、その機能を発現することで疾患を治療するものです。細胞内へ運ぶベクターとして、現在は無毒化したウイルスなどが利用されていますが、より画期的な遺伝子導入法が期待されています。

以上